



第30回日本勤労協全国総会報告 日本勤労協連合会から全国勤労協交流会へ

第30回日本勤労協連合会全国総会は、第29回全国総会（香川県総会 2019.9.29～30）以降から始まった、新型コロナウイルス感染拡大が世界中に拡大しすでに2年余となり、感染の収束が見えない状況となりました。第29回総会では次回の総会を長崎県連にお願いしていくことも方針化しましたが、計画をしたもののコロナ禍の中で延期を余儀なくされてきました。

日本勤労協幹事会や組織検討委員会も会議設定はするものの、コロナ禍による延期や中止に追い込まれ十分な会議設定が出来ませんでした。その中でようやく第30回全国総会を静岡市清水区で開催することとなりましたが、台風15号（9月23日夜半）が静岡県に集中豪雨をもたらし、特に静岡市に集中して豪雨被害をもたらし、土砂崩壊、河川の氾濫、水道取水口の破損などから清水区では全体的に水道が断水状況となりました。総会を予定していたホテルも断水により総会の受け入れができない事態となったこと

ことから、24日急遽総会会場の変更、食事・宿泊の変更手配に追われ、ようやく「スルガ健康ランド」に落ち着き全国総会の開催となりました。総会参加者の皆さんにはご迷惑をおかけしました。

本総会の参加者は山形県・福島県・群馬県・富山県・石川県・福井県・香川県・熊本県・大分県・静岡県から29名が参加し開催されました。



第30回全国総会での方針提起について

総会は矢野俊雄事務局次長の開会のあいさつに始まり、総会議長に秋山一氏を選出（静岡県連事務局長）、日本勤労協連を代表し藤田利男会長代行から30回全国総会を迎えるにあたって今日までの経緯や意義についての挨拶を頂きました。その後、地元静岡県連会長の堀内武治氏から歓迎のご挨拶を頂き議事に入っていました。

日本勤労協連橋本勝六事務局長から第29回全国総会以降の経過として、日本勤労協連幹事会の報告、コロナ禍の中で会議設定しても会議の延期や中止に追い込まれてきた経緯、本来ならば第30回全国総会は長崎県連にお願いし開催予定であったが中止に追い込まれた経緯、日本勤労協連宇津井賢一会長が病気により役員辞退との連絡を受けて藤田利男副会長を会長代理とすること等が報告されました。第29回全国総会で確認された日本勤労協連の組織の在り方については組織検



討委員会を設置し議論することとなっていたことからコロナ禍ではありましたが、2021年12月2日に静岡市清水区において組織検討委員会を開催し議論を重ね、一定の方向性を確認し、第30回全国総会に提案するに至ったことなどの経過が報告されました。

第1号議案として、私たちを取り巻く情勢認識について、及び日本勤労協連合会の今後の運営について提案されました。

第30回全国総会の主要な課題は日本勤労協連合会の今後の組織のあり方を確認することであり、組織検討委員会の確認事項を提案することとしました。

日本勤労協連合会の今後の組織のあり方については

- ①日本勤労者協議会連合会の組織を「全国勤労協交流会」に組織変更する。日本勤労協連合会の規約、旅費規定は廃止する。
- ②各ブロック勤労協連合会、県勤労協連合会は今日までの運動実績や地域課題を取組んできたことから、引き続き組織形態を存続し活動を展開する。
- ③単位勤労協は各地区に根差した地域課題を中心に取組んできたことから、県勤労協連合会の指導のもとに活動を取組んでいく。
- ④今日まで連携して取組んできた県平和国民運動センター、平和憲法9条の会、原水爆禁止運動、沖縄と連帯する会、脱原発・再生可能エネルギーへの転換、環境・福祉課題など地域で連帯する運動については継続して取り組むこととします。
- ⑤全国勤労協交流会は各ブロック勤労協連合会、各県勤労協連合会の活動交流や情報共有、親善の場として実施していくこととします。
- ⑥全国勤労協交流会の開催については数年毎（2～3年）に開催することとし、各ブロックに代表世話人を置き、全国勤労協交流会の連絡体制と準備を図っていくこととします。当面、代表世話人には現行日本勤労協連合会幹事にその役割をお願いします。

第2号議案として、2019年～2020年年度会計報告が提案されました。会計監査は、三浦正弘氏（福島県連）から報告されました。

全国総会の議論の中で、長野県勤労協より飯田地区の「満蒙開拓平和記念館」の視察を含めて全国勤労協交流会の受け入れについて取組んでいく方針が示されました。太平洋戦争で国策として満州に移住し、終戦の中で悲惨な苦労をした満州開拓団の歴史を知る機会としていくため、第1回全国勤労協交流会として取組んでいきたいと思えます。

第30回全国総会論議では参加全県から現状報告や総会議案についての報告を受けました。福島県連からは、今総会議案には賛成できないとの意見が出されましたが、他県連からは各組織の高齢化や後継者不足など将来的不安が多く報告されました。また、全国勤労協交流会を開催するにあたって、資金的な心配、中心的役員が存在しない中での全国勤労協交流会の開催ができるかとの意見も多く出されました。



最終集約は橋本事務局長から、今日まで日本勤労協連合会は40年間にわたって、日本勤労協幹事を選出してきた県連に会費の過重な負担、物資販売事業の枠拡大など多くの支援を頂きながら取り組んできた。今日の状況から財政的にも役員選出も困難さが増してきている。今後は全国勤労協交流会という緩やかな組織対応で情報交換や交流の場としていきたいと集約されました。

総会議案については秋山一議長の計らいで第1号議案、第2号議案とも全体の拍手で確認されました。秋山一議長には大変ご苦勞様でした。総会最後には篠原清日本勤労協連幹事から閉会の挨拶として、第30回全国総会の意義と全国各地において勤労協運動を引き続き活動していくことを確認し総会を終了しました。

総会終了後の交流・懇親を図る懇親会については、急遽会場設定となったことから懇親会は開催できませんでした。誠に残念で申し訳ありませんでした。
(事務局長・橋本勝六)

静岡県勤協連ニュースより

日本勤労協第30回全国総会が開催

日本勤労協第30回全国総会が2022年9月25日(日)午後3時より静岡市清水区にある『クアアンドホテル・駿河健康ランド』にて開催、29名が参加しました。

同会議では議長に静岡県勤労協の秋山事務局長を選出して、議事に入りました。

主催者を代表して、藤田利男日本勤労協会長代行は「日本勤労者協議会連合会は1982(昭和57年)6月19日、熊本市において結成総会が開催され本年第30回総会えるまで40年が経過されました。全国各地で結成された勤労協運動は、結成経緯や運動課題などで様々な課題に対して、住民と一体となって数多くの成果を果たしてきました。



本日の第30回全国総会では、日本勤労協から『全国勤労協交流会』へと新たな運動のスタートをすることになりますが、是非とも日本勤労協の運動と活動の成果を各県段階と地区勤労協でも受け継いでいくことを確認していきましょう。それが、私たちが求めている平和と民主主義を擁護する運動につながるのです」と、訴えました。

地元勤労協より堀内武治会長は「台風15号の影響により会場変更を伴い全国からの参加者にはご迷惑をお掛けします。しかし、地元では『何としてでも第30回全国総会を開催する』という熱い思いがあって今回の決断をした。全国総会が終了した後には安倍元総理の国葬が開催されるなど、多くの国民が反対する中での強行開催は今後の岸田政権にとって大きな打撃になると思われます。

円安と超物価高の中でも軍事費だけを増強を続ければ、シワヨセは子供や女性そして高齢者が犠牲になるのは明白です。私たちは今年8月に反戦・平和そして沖縄をテーマにした写真パネル展示会を開催してきました。今後も反戦・平和、そして民主主義を守る運動を展開していきます」と、力強い決意を表明しながら静岡の地は風光明媚な観光地であるので楽しんで下さい。と、歓迎の挨拶がされました。

議案提案は第1号提案として「日本勤労協連合会第29回総会以降の経過説明及び日本勤労者協議会連合会の今後の運営」について。第2号議案として「日本勤労者連合会2019～2020年会計報

告、監査報告及び今後の会計処理について」を橋本勝六日本勤労協事務局長より一括提案がされました。



「第1回全国勤労協交流会は長野で」 主に、満蒙開拓平和記念館の見学を

全体討論では、出席された11県の代表から「全国総会議案(日本勤労協連合会の今後の組織運営について)」を、参加された各県、各地区の実情報告も含めて発言がされました。

全国総会では長野県勤労協から、「次回から全国勤労協交流会が実施されることになっているが、是非とも長野県で開催を受け入れたい。その理由は、全国の仲間に『満蒙開拓平和記念館』を見学して頂きたい。そうすると、平和と民主主義を守る運動を強化することにつながる」と、要望意見が出されました。

執行部からは「長野県勤労協からの『次回の全国勤労協交流会の受け入れ』に応える様に関係者と協議をしていく」との見解が示されました。

最終的には、執行部から提案された第1.2号議案とも「賛成」され可決・決定されました。

(報告・秋山一 静岡県連)

◆◆◆ 事務局より ◆◆◆

日本勤労者協議会連合会の組織改編により、広報誌「にほん勤労協ネットワーク」は今回お送りするNO. 163が最終号となります。

また、日本勤労協宛のメールも事務連絡以外の対応はできなくなりますのでご了承ください。長期にわたり、ご支援いただきありがとうございました。

「満蒙開拓平和記念館」

日中双方を含め、多くの犠牲者を出した満蒙開拓の史実を通じて、戦争の悲惨さ、平和の尊さを学び、次世代に語り継ぐと共に国内外に向けた平和発信拠点とすることを目的に造られました。記念館では満蒙開拓団に関する常設展示、企画展示、平和教育活動が開催されています。

所在地 長野県下伊那郡阿智村駒場 711-10



みんなが育てた 安心のネットワーク それが「こくみん共済 coop」です

戦後まもないころ。ひとたび火災が起きると生活が崩壊する時代。

そこで職場の仲間たちが少しずつお金を出し合い、

お互いをたすけあう火災共済をつくったことが、

こくみん共済 coop のはじまりです。

その後、共済の種類を増やし、さまざまな社会課題に向き合いながら、

生活協同組合として組合員の皆さんと活動を広げてきました。

今では**加入件数3,052万件**、

1年間に**お支払いした共済金は3,337億円**と

大きなたすけあいの輪に発展しています。

※2020年5月末現在

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop**

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。



公式キャラクター ビットくん

ATM!

R ろうきん



はたらくあなたの、
いちばんそばに。



©ROKIN

ろうきんのキャッシュカードなら
コンビニなどのいろんな
提携ATMで便利に使えます



©ROKIN

ろうきんのキャッシュカードでお引出しができる場所はコチラ※

※ろうきん、コンビニ、イオン銀行、ゆうちょ銀行のATMでは「お預入れ」もできます。



()は主な設置先

ATMお引出し手数料が
お得になる場合があります。

全国のろうきんATMをご利用の場合、平日夜間(18時以降)でも、土日祝日もATMお引出し手数料は0円です。また、ろうきん以外のATMをご利用の場合でも、一部のろうきんではお引出し手数料が0円だったり、ご負担いただいた後にろうきんがキャッシュバックすることで実質0円になる場合があります。取り扱いはろうきんによって異なり、今後、変更する可能性がありますので、最新の情報は、ろうきんのホームページをご確認ください。

さらに全国のMICS加盟金融機関(銀行・信用金庫等)で使えて
ATMお引出し手数料を即時キャッシュバック!

2021年4月1日作成